



ほうらい

教育目標

- かしく
- やさしく
- たくましく

一関市立猿沢小学校
令和4年10月11日
第27号 文責：亀丸

伊勢神楽の学習

本校の5年生は総合的な学習の時間に伊勢神楽について学習をしています。これは地域の美しい自然や素晴らしい文化を学ぶもので、3年生から続けている学習です。PTA広報「あぜみち」でもお伝えしたとおり、本校の復興教育にも位置づけているものです。5年生は3年生の時に保存会の方から猿沢の伊勢神楽の歴史を学び、4年生の時に民俗資料館の見学を通して他地域の伊勢神楽との違いを学び、5年生では学んだことを生かして舞いを披露することになります。例年運動会で舞いを披露していたのですが、コロナ禍で運動会が午前中の開催となったこともあり、運動会での発表は行っていませんでした。また、近年の児童数の減少と、子ども達の体力を考えると、運動会の1日開催は難しくなっており、今後コロナが収束したとしても運動会は午前中の開催を考えております。

そこで伊勢神楽の発表の場を学習発表会にすることにしました。学習発表会での伊勢神楽の本格的な発表は今年度が最初となります。

9月の下旬から保存会の方々に多数ご来校いただきご指導いただいております。先日は保護者に向けて衣装についての指導もしていただきました。コロナ禍にあってもこのようにご来校くださりご指導いただけること大変ありがたく思っているところです。本番での子ども達の舞いがとても楽しみです。



後期たてわり班がスタート

本校ではたてわり班活動を実施しています。中・大規模校ではなかなかできない本校ならではの活動です。様々な活動の中で、異学年と交流を深めることで、豊かな人間性と確かなコミュニケーション力を身につけさせるねらいがあります。これも本校の復興教育に位置づけた活動です。

毎日の活動としてたてわり班で清掃をしています。また、毎日ではありませんが、定期的なたてわり班遊びをしています。全校なわとび集会に向けての取組では、2つのたてわり班が1つになり、長なわ跳びに取り組めます。活動を通して、高学年はリーダー性を高めます。中学年は低学年のよいお手本となること、低学年は中・高学年の言うことを聞いて、型を身につけることをそれぞれ頑張ります。コロナ禍ということで制約もあるのですが、感染症対策を万全にしながら、できる限り活動していきたいと思っております。

